



平成22年9月29日
海上保安庁

海上保安庁における薬物水際対策について

1 薬物事犯の摘発状況

年別		18年	19年	20年	21年	22年(注2)
区分						
摘発事案数(注1)		20	25	21	13	5
押収量	覚せい剤	9.6 kg	51.4 kg	308.38 kg	136.96 kg	0.00032 kg
	大麻	12.4 kg	0.08 kg	0.023 kg	0.008 kg	0.019 kg
	麻薬	0	0.0002 kg	0.0003 kg	0	10.8662 kg
	あへん	0	0	0	0	0

(注1) 当庁が単独又は他機関と合同で摘発した事案の数

(注2) 平成22年8月31日現在

2 最近の主な薬物事犯

平成22年5月25日、根室海上保安部は、警察・税関と合同で、根室花咲港に着岸したロシア籍貨物船SVIRITSA号(総トン数248トン、ロシア人10名乗組み)に対する立入検査を実施し、船内から紙片に包まれた大麻成分を含む植物片8.38グラムを発見、ロシア人船員1名を大麻取締法違反(不法所持)で現行犯逮捕した。



押収した大麻製品

3 海上保安庁の取組

(1) 取締対策 — 取締機関・関係機関の連携強化 —

- ① 関係機関との合同立入検査、合同取締等の強化
- ② 中央・地方レベルでの情報交換、取締対策会議等の開催による情報共有の強化
- ③ 関係機関との人事交流の推進の強化

(2) 水際対策 — 国際連携・協力の強化及び水際対策の徹底 —

- ① 北太平洋海上保安機関長官級会合(日、加、中、韓、露、米)による連携・協力の強化
- ② 東南アジア諸国等との連携・協力の強化
- ③ 海上密輸ルートや洋上取引の可能性の高い海域における洋上監視・警戒の徹底
- ④ 薬物・銃器の仕出国との関係が認められる船舶に対する立入検査・監視の徹底
- ⑤ 海事、漁業及び港湾関係者等に対する情報提供依頼等による情報収集の徹底
- ⑥ 速力・搜索監視能力等の向上を図った巡視船艇・航空機の緊急整備推進の徹底
- ⑦ 複数クルー化による「空き巡視艇ゼロ」の推進による巡視艇の効率的運用の徹底